

財政運営適正化計画（抄）（令和3年10月31日現在）

調査票1・・・財政運営適正化計画（数値）

調査票2・・・財政運営適正化計画の概要（考え方等）

調査票3・・・歳入（見込）額 調

調査票4・・・歳出（見込）額 調

調査票5・・・実質公債費比率（見込）調

調査票6・・・将来負担比率（見込）調

1 財政運営適正化計画

調査表 1

財政状況の推移 (単位:千円、%)																			
年度	歳入	歳出	(実質収支 比率) 実質収支	標準財政規 模 A	実質公債費比率		将来 負担 比率	起債 制限 比率	経常収支比率			財政力 指数 3年平均	地方債 現在高 B	翌年度以降 債務負担行 為支出予定 額一般財源 C	B/A	B+C A	基金現在高		
					単年度	3年平均			うち 人件費	うち 公債費	うち 減債						うち 財政調整		
H30	10,199,423	9,534,488	(13.8) 664,935	4,818,414	8.9	8.6	△ 47.6	4.1	90.7%	15.3%	15.1%	0.371	9,712,139	274,068	2.0	2.1	7,785,166	1,176,955	3,167,966
R1	9,540,070	8,639,100	(18.5) 900,970	4,876,464	9.3	8.9	△ 30.6	3.9	88.7%	15.2%	15.0%	0.365	11,101,034	212,382	2.3	2.3	7,854,083	1,233,537	3,223,713
R2	11,422,177	11,020,665	(7.6) 401,512	5,286,224	8.9	9.0	△ 67.6	3.4	87.0%	22.4%	15.8%	0.358	10,194,076	415,948	1.9	2.0	8,014,779	1,220,889	3,419,949
R3	9,149,160	8,729,162	(7.6) 419,998	5,544,433	8.4	8.9	△ 58.0	2.8	88.3%	21.4%	16.1%	0.344	10,224,856	367,964	1.8	1.9	7,891,685	1,135,343	3,618,309
R4	8,712,313	8,061,398	(11.7) 650,915	5,579,803	8.2	8.5	△ 81.5	2.2	84.0%	20.8%	16.0%	0.325	9,796,481	298,996	1.8	1.8	8,014,817	1,102,949	4,038,255
R5	8,820,221	8,080,184	(13.2) 740,037	5,605,864	8.3	8.3	△ 106.4	2.0	84.6%	20.7%	16.6%	0.308	9,377,823	214,258	1.7	1.7	8,108,829	1,006,815	4,514,561
R6	8,627,723	7,877,111	(13.4) 750,612	5,592,024	7.5	8.0	△ 128.6	1.5	85.5%	20.9%	16.2%	0.301	8,805,892	421,162	1.6	1.7	8,216,514	925,956	5,000,677
R7	8,316,053	7,551,747	(13.7) 764,306	5,582,043	6.1	7.3	△ 157.1	1.7	85.5%	20.9%	16.2%	0.300	8,081,040	337,143	1.4	1.5	8,246,681	776,138	5,499,682
R8	8,202,719	7,414,817	(14.2) 787,902	5,537,635	4.6	6.0	△ 185.7	0.7	85.5%	20.9%	16.2%	0.300	7,309,373	253,838	1.3	1.4	8,204,051	553,396	6,016,679

2 財政運営適正化計画の概要

行財政運営の簡素化及び効率化の基本方針																																																																																	
項目	現状と問題点	財政運営の適正化を図るための措置及び目標																																																																															
歳入確保対策	課税客体捕捉の徹底と徴収の強化 (地方税徴収率の向上)	定期的な現地確認調査による課税客体の適正把握。口座振替の推進。岡山県税整理組合への委託、岡山県滞納整理推進機構への徴収引継などによる徴収強化。 H29徴収率96.9%(対前年度+0.3%、徴収努力による)	増収見込額 百万円																																																																														
	使用料・手数料等受益者負担の適正化	受益者負担については、事業実施の際などに分担金徴収条例に基づき適正に負担をお願いしている。	増収見込額 百万円																																																																														
	財産管理の適正化と財産運用収入の確保 (売却可能資産の処分)	資金計画を綿密に立てることにより、積極的な資金運用を行い、財産運用収入の増に努めている。	増収見込額 百万円																																																																														
	その他の歳入確保	各種補助金・助成金など、情報収集に努め、積極的な歳入確保を図っている。また、H22年度から過疎地域に指定されたことにより、過疎対策事業債を積極的に活用している。	増収見込額 百万円																																																																														
職員定数の見直し状況	平成17年度からの行財政改革及び課の統廃合により、定員管理目標は十分達成している。 今後は、高度化する行政ニーズへの対応のため、専門職の採用を積極的に取り組む。また、権限移譲等による業務増に合わせて、再任用職員を含め、優秀な人材確保に努める。 ※令和2年度からの会計年度任用職員制度導入により、フルタイム会計年度職員を計上しているため、職員数が大幅増となっている。	職員数の現況及び将来見通し (単位:人)																																																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員数</td> <td>105</td> <td>103</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>-2</td> <td>63</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	職員数	105	103	166	166	166	166	166	166	166	増減		-2	63	0	0	0	0	0	0																																																	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																								
職員数	105	103	166	166	166	166	166	166	166																																																																								
増減		-2	63	0	0	0	0	0	0																																																																								
歳出抑制策	人件費については、令和2年度以降、会計年度任用職員制度の開始により増となる見込みだが、引き続き抑制を図っていく。 公債費については、交付税措置のある有利な起債以外は利用せず、公債費の抑制に努めているが、過疎対策事業債の元金償還が順次始まっており、公債費が高い水準で推移することが見込まれるため、利率見直しのタイミングでの過疎債や臨財債の繰上償還を積極的に検討し、さらなる公債費の伸びを抑える必要がある。 扶助費については、検診受診率の引き上げや予防施策に力を入れることで抑制に努めているが、全体としては増加傾向にある。 【平成30年度については、災害対応に係る時間外手当の増により、一時的に人件費が増となっている。】	人件費総額の抑制計画 (単位:百万円)																																																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>864.7</td> <td>850.8</td> <td>1,369.0</td> <td>1,370.8</td> <td>1,374.9</td> <td>1,379.1</td> <td>1,383.2</td> <td>1,387.4</td> <td>1,391.5</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>-13.9</td> <td>518.2</td> <td>1.8</td> <td>4.1</td> <td>4.2</td> <td>4.1</td> <td>4.2</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>754.2</td> <td>784.9</td> <td>1,119.2</td> <td>1,177.6</td> <td>1,200.3</td> <td>1,237.8</td> <td>1,219.1</td> <td>1,235.6</td> <td>1,167.3</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>30.7</td> <td>334.3</td> <td>58.4</td> <td>22.7</td> <td>37.5</td> <td>-18.7</td> <td>16.5</td> <td>-68.3</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> <td>280.0</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画額	864.7	850.8	1,369.0	1,370.8	1,374.9	1,379.1	1,383.2	1,387.4	1,391.5	増減		-13.9	518.2	1.8	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	うち行革分											H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画額	754.2	784.9	1,119.2	1,177.6	1,200.3	1,237.8	1,219.1	1,235.6	1,167.3	増減		30.7	334.3	58.4	22.7	37.5	-18.7	16.5	-68.3	うち行革分				280.0	280.0	280.0	280.0	280.0
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																								
計画額	864.7	850.8	1,369.0	1,370.8	1,374.9	1,379.1	1,383.2	1,387.4	1,391.5																																																																								
増減		-13.9	518.2	1.8	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1																																																																								
うち行革分																																																																																	
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																								
計画額	754.2	784.9	1,119.2	1,177.6	1,200.3	1,237.8	1,219.1	1,235.6	1,167.3																																																																								
増減		30.7	334.3	58.4	22.7	37.5	-18.7	16.5	-68.3																																																																								
うち行革分				280.0	280.0	280.0	280.0	280.0	280.0																																																																								
			・年間280百万円の計画的繰上償還(R2年度～) 過疎対策事業債について、利率見直し時に補償金免除繰上償還を行う。																																																																														

項目	現状と問題点	財政運営の適正化を図るための措置及び目標																																																																																
歳出抑制策	消費的経費の節減	<p>物件費の抑制計画 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>1,280.0</td> <td>1,276.0</td> <td>1,154.7</td> <td>1,037.8</td> <td>1,037.0</td> <td>986.3</td> <td>985.2</td> <td>984.1</td> <td>983.0</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>-4.0</td> <td>-121.3</td> <td>-116.9</td> <td>-0.8</td> <td>-50.7</td> <td>-1.1</td> <td>-1.1</td> <td>-1.1</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-8.0</td> <td>-8.0</td> <td>-8.0</td> <td>-8.0</td> <td>-8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>維持補修費の抑制計画 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>83.2</td> <td>77.4</td> <td>65.3</td> <td>66.6</td> <td>67.9</td> <td>69.3</td> <td>70.7</td> <td>72.1</td> <td>73.5</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>-5.8</td> <td>-12.1</td> <td>1.3</td> <td>1.3</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>うち行革分</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>措置内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力供給契約に係る入札方式導入による経費節減(R1~) 空調や照明設備の省エネ化更新(H30~R2) 		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画額	1,280.0	1,276.0	1,154.7	1,037.8	1,037.0	986.3	985.2	984.1	983.0	増減		-4.0	-121.3	-116.9	-0.8	-50.7	-1.1	-1.1	-1.1	うち行革分					-8.0	-8.0	-8.0	-8.0	-8.0		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画額	83.2	77.4	65.3	66.6	67.9	69.3	70.7	72.1	73.5	増減		-5.8	-12.1	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	うち行革分									
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																								
	計画額	1,280.0	1,276.0	1,154.7	1,037.8	1,037.0	986.3	985.2	984.1	983.0																																																																								
	増減		-4.0	-121.3	-116.9	-0.8	-50.7	-1.1	-1.1	-1.1																																																																								
うち行革分					-8.0	-8.0	-8.0	-8.0	-8.0																																																																									
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																									
計画額	83.2	77.4	65.3	66.6	67.9	69.3	70.7	72.1	73.5																																																																									
増減		-5.8	-12.1	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4																																																																									
うち行革分																																																																																		
投資的経費の抑制 (地方債の発行抑制)	<p>以前から、地方交付税措置のある地方債以外は起債しないことで発行額の抑制を図ってきたが、H22年度に過疎地域に指定されたことに伴い、適債事業の積極的な掘り起こしにより地方債発行額が大幅に増加しているが、今後は施設の長寿命化事業へ移行していくと考える。過疎対策事業については後年度の元利償還金の3割相当額を翌年度に減債基金に積み立てることで将来負担を抑えるように対策をしている。</p>	<p>地方債発行抑制 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>1,006.4</td> <td>1,562.5</td> <td>994.4</td> <td>1,200.8</td> <td>765.7</td> <td>814.1</td> <td>633.4</td> <td>386.7</td> <td>322.9</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>556.1</td> <td>-568.1</td> <td>206.4</td> <td>-435.1</td> <td>48.4</td> <td>-180.7</td> <td>-246.7</td> <td>-63.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>措置内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 過疎債、辺地債に係る普通交付税措置外分(各3割、2割)の減債基金への積立による後年度の公債費負担抑制 近年の過疎債を活用した積極的な事業実施と平成30年7月豪雨災害への対応により、令和元年度末には起債残高が100億円を超える見込となる。そこで今年度は起債借入・償還のシミュレーションを作成し、令和10年度までに「起債残高が基金残高を下回るように」投資的経費と起債の発行を抑制していくこととしている。 		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画額	1,006.4	1,562.5	994.4	1,200.8	765.7	814.1	633.4	386.7	322.9	増減		556.1	-568.1	206.4	-435.1	48.4	-180.7	-246.7	-63.8																																																		
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																									
計画額	1,006.4	1,562.5	994.4	1,200.8	765.7	814.1	633.4	386.7	322.9																																																																									
増減		556.1	-568.1	206.4	-435.1	48.4	-180.7	-246.7	-63.8																																																																									
繰出金の適正合理化 (基準外繰出の解消等)	<p>繰出金については、繰出基準による繰出を基本としている。下水道事業については、下水道への接続推進に努めているものの接続率が伸び悩み、さらには節水意識の向上に伴う使用料の減などもあって赤字額の解消には至っていない。</p> <p>病院事業についても、不採算地区に指定されるなど、赤字額の解消は困難な状況である。</p>	<p>基準外繰出の解消等 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>H4</th> <th>H5</th> <th>H6</th> <th>H7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画額</td> <td>1019.8</td> <td>158.4</td> <td>226.7</td> <td>126.8</td> <td>137.7</td> <td>151.5</td> <td>139.7</td> <td>92.5</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td></td> <td>-861.4</td> <td>68.3</td> <td>-99.8</td> <td>10.8</td> <td>13.8</td> <td>-11.7</td> <td>-47.3</td> <td>-5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>措置内容</p> <p>平成30年度は、下水道事業の公営企業移行に際しての出資金の増により、一時的に基準外繰出額が増となっている。令和元年度以降、基準外繰出額が増加傾向となっているが、これは下水道事業が法適用したことにより繰出基準が変更となるため、繰出金額については従来同様、交付税措置に見合った額の繰出のみ行うこととしている。</p>		H30	R1	R2	R3	H4	H5	H6	H7	R8	計画額	1019.8	158.4	226.7	126.8	137.7	151.5	139.7	92.5	87.0	増減		-861.4	68.3	-99.8	10.8	13.8	-11.7	-47.3	-5.5																																																		
	H30	R1	R2	R3	H4	H5	H6	H7	R8																																																																									
計画額	1019.8	158.4	226.7	126.8	137.7	151.5	139.7	92.5	87.0																																																																									
増減		-861.4	68.3	-99.8	10.8	13.8	-11.7	-47.3	-5.5																																																																									
事務事業の見直し状況	<p>平成29年度以降、文書管理方法の抜本的な見直しを行い、執務室スペースの有効活用及び文書検索時間の減による事務の効率化を図っている。</p>	<p>削減見込額 百万円</p> <p>措置内容</p>																																																																																
その他の歳出合理化		<p>削減見込額 百万円</p> <p>措置内容</p>																																																																																
その他	政策評価の導入状況																																																																																	
	行政改革・財政状況に関する情報公開の状況																																																																																	

3 歳入

調査表3

(単位:千円, %)

区 分	平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率
1 地 方 税	1,555,640	△ 0.6%	1,657,847	6.6%	1,604,957	△ 3.2%	1,544,252	△ 3.8%	1,561,184	1.1%	1,565,994	0.3%	1,532,398	△ 2.1%	1,536,995	0.3%	1,542,989	0.4%
市 町 村 民 税	638,221	△ 1.4%	692,312	8.5%	626,245	△ 9.5%	627,111	0.1%	624,683	△ 0.4%	622,266	△ 0.4%	619,862	△ 0.4%	617,470	△ 0.4%	615,090	△ 0.4%
固 定 資 産 税	776,485	△ 0.5%	821,141	5.8%	830,751	1.2%	769,913	△ 7.3%	788,617	2.4%	796,500	1.0%	764,652	△ 4.0%	772,297	1.0%	780,015	1.0%
そ の 他	140,934	2.5%	144,394	2.5%	147,961	2.5%	147,228	△ 0.5%	147,884	0.4%	147,228	△ 0.4%	147,884	0.4%	147,228	△ 0.4%	147,884	0.4%
2 地 方 譲 与 税	80,722	0.8%	82,794	2.6%	84,010	1.5%	84,010		84,010		84,010		84,010		84,010		84,010	
3 交 付 金	299,037	0.6%	273,139	△ 8.7%	332,787	21.8%	332,561	△ 0.1%	332,340	△ 0.1%	332,124	△ 0.1%	331,913	△ 0.1%	331,707	△ 0.1%	331,505	△ 0.1%
4 地 方 特 例 交 付 金	7,490	22.8%	54,937	633.5%	12,384	△ 77.5%	12,384		12,384		12,384		12,384		12,384		12,384	
5 地 方 交 付 税	3,035,105	7.3%	3,068,775	1.1%	3,295,890	7.4%	3,603,254	9.3%	3,733,316	3.6%	3,758,167	0.7%	3,774,785	0.4%	3,761,336	△ 0.4%	3,711,458	△ 1.3%
普 通 交 付 税	2,650,279	4.1%	2,740,809	3.4%	3,015,898	10.0%	3,323,262	10.2%	3,453,324	3.9%	3,478,175	0.7%	3,494,793	0.5%	3,481,344	△ 0.4%	3,431,466	△ 1.4%
特 別 交 付 税	384,826	36.0%	327,966	△ 14.8%	279,992	△ 14.6%	279,992		279,992		279,992		279,992		279,992		279,992	
6 分・負担金、寄付金	218,290	28.1%	136,701	△ 37.4%	131,222	△ 4.0%	131,509	0.2%	124,930	△ 5.0%	130,229	4.2%	130,909	0.5%	130,109	△ 0.6%	130,109	
7 使 用 料・手 数 料	167,786	△ 2.6%	244,103	45.5%	119,544	△ 51.0%	142,743	19.4%	141,408	△ 0.9%	124,239	△ 12.1%	123,486	△ 0.6%	123,141	△ 0.3%	122,245	△ 0.7%
8 国・県支出金	1,522,450	19.2%	1,326,512	△ 12.9%	3,531,726	166.2%	1,462,461	△ 58.6%	1,295,857	△ 11.4%	1,259,546	△ 2.8%	1,226,292	△ 2.6%	1,156,500	△ 5.7%	1,153,447	△ 0.3%
経 常	642,782	24.5%	690,190	7.4%	729,481	5.7%	730,211	0.1%	730,941	0.1%	731,672	0.1%	732,404	0.1%	733,137	0.1%	733,870	0.1%
臨 時	879,668	15.6%	636,322	△ 27.7%	2,802,245	340.4%	732,250	△ 73.9%	564,916	△ 22.9%	527,874	△ 6.6%	493,888	△ 6.4%	423,363	△ 14.3%	419,577	△ 0.9%
9 財 産 収 入	142,042	33.2%	191,580	34.9%	112,600	△ 41.2%	111,148	△ 1.3%	111,699	0.5%	110,657	△ 0.9%	110,290	△ 0.3%	110,009	△ 0.3%	109,449	△ 0.5%
10 繰 入 金	1,692,454	22.1%	539,210	△ 68.1%	582,170	8.0%	207,342	△ 64.4%	223,543	7.8%	240,462	7.6%	243,898	1.4%	254,974	4.5%	248,558	△ 2.5%
11 繰 越 金	242,993	19.3%	356,205	46.6%	457,607	28.5%	189,753	△ 58.5%	167,999	△ 11.5%	260,366	55.0%	296,015	13.7%	300,245	1.4%	305,722	1.8%
12 地 方 債	1,006,444	△ 19.9%	1,367,279	35.9%	994,374	△ 27.3%	1,250,777	25.8%	815,677	△ 34.8%	864,077	5.9%	683,377	△ 20.9%	436,677	△ 36.1%	372,877	△ 14.6%
うち臨時財政対策債	255,844	4.9%	197,875	△ 22.7%	202,774	2.5%	214,877	6.0%	249,877	16.3%	249,877		249,877		249,877		249,877	
うち合併特例債																		
13 そ の 他	229,756	76.3%	240,988	4.9%	162,906	△ 32.4%	76,966	△ 52.8%	107,966	40.3%	77,966	△ 27.8%	77,966		77,966		77,966	
歳 入 合 計	10,199,423	7.6%	9,540,070	△ 6.5%	11,422,177	19.7%	9,149,160	△ 19.9%	8,712,313	△ 4.8%	8,820,221	1.2%	8,627,723	△ 2.2%	8,316,053	△ 3.6%	8,202,719	△ 1.4%
うち経常一般財源	4,697,579	4.0%	4,970,483	5.8%	5,067,608	2.0%	5,315,008	4.9%	5,461,967	2.8%	5,491,252	0.5%	5,473,961	△ 0.3%	5,464,860	△ 0.2%	5,420,663	△ 0.8%

4 歳出

調査表4

(単位:千円,%)

区 分	平成30年度			令和1年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率	金額	伸率	経常収支比率
1 人件費	864,661	2.8%	15.3%	850,848	△ 1.6%	15.2%	1,368,958	60.9%	22.4%	1,370,829	0.1%	21.4%	1,374,941	0.3%	20.8%	1,379,066	0.3%	20.7%	1,383,203	0.3%	20.9%	1,387,353	0.3%	20.9%	1,391,515	0.3%	20.9%
うち職員給	535,201	4.7%	—	513,799	△ 4.0%	—	488,652	△ 4.9%	—	488,652	—	—	488,652	—	—	488,652	—	—	488,652	—	—	488,652	—	—	488,652	—	—
うち退職手当	68,284	1.9%	—	72,063	5.5%	—	74,557	3.5%	—	74,557	—	—	74,557	—	—	74,557	—	—	74,557	—	—	74,557	—	—	74,557	—	—
2 扶助費	1,120,184	30.3%	7.7%	964,789	△ 13.9%	7.4%	805,551	△ 16.5%	4.6%	817,650	1.5%	4.4%	845,450	3.4%	4.4%	874,195	3.4%	4.6%	903,918	3.4%	4.7%	934,651	3.4%	4.7%	966,429	3.4%	4.7%
3 公債費	754,181	16.8%	15.1%	784,934	4.1%	15.0%	1,119,204	42.6%	15.8%	1,177,619	5.2%	16.1%	1,200,251	1.9%	16.0%	1,237,796	3.1%	16.6%	1,219,066	△ 1.5%	16.2%	1,235,627	1.4%	16.2%	1,167,309	△ 5.5%	16.2%
元利償還金	753,781	16.7%	—	784,606	4.1%	—	1,118,918	42.6%	—	1,177,333	5.2%	—	1,199,965	1.9%	—	1,237,510	3.1%	—	1,218,780	△ 1.5%	—	1,235,341	1.4%	—	1,167,023	△ 5.5%	—
一時借入金利子	400	19,900.0%	—	328	△ 18.0%	—	286	△ 12.8%	—	286	—	—	286	—	—	286	—	—	286	—	—	286	—	—	286	—	—
1~3 義務の経費計	2,739,026	16.7%	38.1%	2,600,571	△ 5.1%	37.6%	3,293,713	26.7%	42.8%	3,366,098	2.2%	41.9%	3,420,642	1.6%	41.2%	3,491,057	2.1%	41.9%	3,506,187	0.4%	41.8%	3,557,631	1.5%	41.8%	3,525,253	△ 0.9%	41.8%
4 物件費	1,279,971	3.9%	14.8%	1,276,013	△ 0.3%	14.9%	1,154,676	△ 9.5%	10.6%	1,037,785	△ 10.1%	9.1%	1,037,049	△ 0.1%	8.8%	986,308	△ 4.9%	8.3%	985,212	△ 0.1%	8.3%	984,108	△ 0.1%	8.3%	982,997	△ 0.1%	8.3%
5 維持補修費	83,229	12.1%	1.2%	77,418	△ 7.0%	1.1%	65,278	△ 15.7%	1.0%	66,584	2.0%	0.9%	67,916	2.0%	0.9%	69,274	2.0%	0.9%	70,659	2.0%	1.0%	72,072	2.0%	1.0%	73,513	2.0%	1.0%
6 補助費等	1,668,456	77.8%	24.4%	1,437,870	△ 13.8%	23.0%	2,987,187	107.8%	20.6%	1,665,878	△ 44.2%	24.2%	1,460,741	△ 12.3%	20.6%	1,443,414	△ 1.2%	20.3%	1,435,662	△ 0.5%	20.2%	1,419,561	△ 1.1%	20.2%	1,396,535	△ 1.6%	20.2%
4~6 消費の経費計	3,031,656	35.1%	40.5%	2,791,301	△ 7.9%	39.1%	4,207,141	50.7%	32.2%	2,770,247	△ 34.2%	34.2%	2,565,706	△ 7.4%	30.3%	2,498,996	△ 2.6%	29.5%	2,491,533	△ 0.3%	29.5%	2,475,741	△ 0.6%	29.5%	2,453,045	△ 0.9%	29.5%
7 積立金	312,023	△ 77.5%	—	345,091	10.6%	—	424,778	23.1%	—	112,029	△ 73.6%	—	182,066	62.5%	—	135,504	△ 25.6%	—	154,984	14.4%	—	97,748	△ 36.9%	—	19,607	△ 79.9%	—
8 投資出資貸付金	1,115,059	849.0%	—	216,710	△ 80.6%	—	266,706	23.1%	—	182,492	△ 31.6%	—	194,615	6.6%	—	209,794	7.8%	—	198,181	△ 5.5%	—	152,026	△ 23.3%	—	146,429	△ 3.7%	—
9 繰出金	711,084	△ 43.7%	12.2%	718,112	1.0%	12.0%	737,210	2.7%	12.0%	780,982	5.9%	12.1%	830,217	6.3%	12.5%	882,735	6.3%	13.2%	938,762	6.3%	14.1%	998,537	6.4%	14.1%	1,062,319	6.4%	14.1%
10 普通建設事業費	1,097,117	△ 34.0%	—	1,568,726	43.0%	—	1,993,827	27.1%	—	1,509,035	△ 24.3%	—	845,152	△ 44.0%	—	839,098	△ 0.7%	—	564,464	△ 32.7%	—	247,064	△ 56.2%	—	185,164	△ 25.1%	—
補助	397,404	△ 43.7%	—	478,254	20.3%	—	1,031,751	115.7%	—	687,016	△ 33.4%	—	419,424	△ 38.9%	—	347,434	△ 17.2%	—	168,064	△ 51.6%	—	34,664	△ 79.4%	—	34,664	—	—
単独	699,713	△ 26.8%	—	1,090,472	55.8%	—	962,076	△ 11.8%	—	822,019	△ 14.6%	—	425,728	△ 48.2%	—	491,664	15.5%	—	396,400	△ 19.4%	—	212,400	△ 46.4%	—	150,500	△ 29.1%	—
11 災害復旧事業費	528,523	1,306.8%	—	398,589	△ 24.6%	—	97,290	△ 75.6%	—	8,279	△ 91.5%	—	23,000	177.8%	—	23,000	—	—	23,000	—	—	23,000	—	—	23,000	—	—
補助	307,624	4,765.9%	—	251,387	△ 18.3%	—	89,333	△ 64.5%	—	4,279	△ 95.2%	—	15,000	250.5%	—	15,000	—	—	15,000	—	—	15,000	—	—	15,000	—	—
単独	220,899	607.0%	—	147,202	△ 33.4%	—	7,957	△ 94.6%	—	4,000	△ 49.7%	—	8,000	100.0%	—	8,000	—	—	8,000	—	—	8,000	—	—	8,000	—	—
10~11 投資の経費計	1,625,640	△ 4.4%	—	1,967,315	21.0%	—	2,091,117	6.3%	—	1,517,314	△ 27.4%	—	868,152	△ 42.8%	—	862,098	△ 0.7%	—	587,464	△ 31.9%	—	270,064	△ 54.0%	—	208,164	△ 22.9%	—
歳出合計	9,534,488	5.3%	90.7%	8,639,100	△ 9.4%	88.7%	11,020,665	27.6%	87.0%	8,729,162	△ 20.8%	88.3%	8,061,398	△ 7.6%	84.0%	8,080,184	0.2%	84.6%	7,877,111	△ 2.5%	85.5%	7,551,747	△ 4.1%	85.5%	7,414,817	△ 1.8%	85.5%
うち経常経費 充当一般財源	4,494,247	5.7%	—	4,582,660	2.0%	—	4,584,311	0.0%	—	4,880,698	6.5%	—	4,798,775	△ 1.7%	—	4,857,034	1.2%	—	4,891,711	0.7%	—	4,932,959	0.8%	—	4,897,789	△ 0.7%	—

5 実質公債費

調査表5

(単位:千円,%)

区 分	平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	金額	伸率	
普通交付税	2,650,279	4.1%	2,740,809	3.4%	3,015,898	10.0%	3,323,262	10.2%	3,453,324	3.9%	3,478,175	0.7%	3,494,793	0.5%	3,481,344	△ 0.4%	3,431,466	△ 1.4%	
標準税収入額	1,495,172	△ 2.3%	1,516,752	1.4%	1,570,107	3.5%	1,476,281	△ 6.0%	1,456,980	△ 1.3%	1,458,314	0.1%	1,427,976	△ 2.1%	1,431,560	0.3%	1,437,143	0.4%	
地方譲与税等	417,119	3.8%	421,124	1.0%	497,445	18.1%	495,013	△ 0.5%	419,622	△ 15.2%	419,498	△ 0.0%	419,378	△ 0.0%	419,262	△ 0.0%	419,149	△ 0.0%	
臨時財政対策債額 B	255,844	5.1%	197,779	△ 22.7%	202,774	2.5%	249,877	23.2%	249,877		249,877		249,877		249,877		249,877		
計(標準財政規模) A	4,818,414	2.1%	4,876,464	1.2%	5,286,224	8.4%	5,544,433	4.9%	5,579,803	0.6%	5,605,864	0.5%	5,592,024	△ 0.2%	5,582,043	△ 0.2%	5,537,635	△ 0.8%	
元利償還金 C	754,181	16.8%	784,934	4.1%	1,119,204	42.6%	1,177,619	5.2%	1,200,251	1.9%	1,237,796	3.1%	1,219,066	△ 1.5%	1,235,627	1.4%	1,167,309	△ 5.5%	
繰上償還額 D					281,700		280,000	△ 0.6%	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		
準元利償還金 E (①+②+③+④+⑤)	576,042	△ 1.8%	603,773	4.8%	620,122	2.7%	633,325	2.1%	647,320	2.2%	652,297	0.8%	635,438	△ 2.6%	554,219	△ 12.8%	520,215	△ 6.1%	
内訳	満期一括償還地方債に係る年度割相当額 ①																		
	公営企業債元利償還金財源充当繰上額 ②	567,003	△ 2.3%	594,222	4.8%	611,025	2.8%	623,733	2.1%	637,793	2.3%	642,834	0.8%	626,038	△ 2.6%	544,880	△ 13.0%	510,936	△ 6.2%
	組合等の起債の元利償還金に充当した負担金等 ③	5,118	112.4%	5,431	6.1%	5,487	1.0%	6,048	10.2%	6,048		6,048		6,048		6,048		6,048	
	公債費に準ずる債務負担行為に基づく償還支出額 ④	3,521	△ 0.6%	3,792	7.7%	3,324	△ 12.3%	3,258	△ 2.0%	3,193	△ 2.0%	3,129	△ 2.0%	3,066	△ 2.0%	3,005	△ 2.0%	2,945	△ 2.0%
	一時借入金利息 ⑤	400	19,900.0%	328	△ 18.0%	286	△ 12.8%	286		286		286		286		286		286	
元利償還金 F	7,776	△ 7.6%	7,395	△ 4.9%	7,031	△ 4.9%	7,028	△ 0.0%	7,028		7,028		7,028		7,028		7,028		
準元利償還金 G																			
基準財政需要額算入額 H (ア+イ+ウ+エ+オ)	979,372	9.5%	1,019,244	4.1%	1,074,281	5.4%	1,153,905	7.4%	1,201,269	4.1%	1,238,251	3.1%	1,238,495	0.0%	1,237,383	△ 0.1%	1,200,660	△ 3.0%	
内訳	公債費分 ア	305,760	1.9%	312,012	2.0%	311,598	△ 0.1%	311,150	△ 0.1%	307,145	△ 1.3%	295,256	△ 3.9%	289,317	△ 2.0%	278,475	△ 3.7%	264,314	△ 5.1%
	事業費補正分 イ	40,497	△ 26.2%	30,921	△ 23.6%	23,119	△ 25.2%	28,438	23.0%	33,561	18.0%	25,725	△ 23.3%	23,195	△ 9.8%	22,888	△ 1.3%	22,495	△ 1.7%
	密度補正分 ウ	55,302	0.8%	49,976	△ 9.6%	43,801	△ 12.4%	39,427	△ 10.0%	40,264	2.1%	40,802	1.3%	41,652	2.1%	42,582	2.2%	43,295	1.7%
	災害復旧等に係る分 エ	532,198	21.3%	580,720	9.1%	650,148	12.0%	729,275	12.2%	774,684	6.2%	830,853	7.3%	838,716	0.9%	847,823	1.1%	824,941	△ 2.7%
	災害復旧等に係る分(準元利償還金分) オ	45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615		45,615	
(C-D+E)-(F+G+H) I	343,075	4.1%	362,068	5.5%	376,314	3.9%	370,011	△ 1.7%	359,274	△ 2.9%	364,814	1.5%	328,981	△ 9.8%	265,435	△ 19.3%	199,836	△ 24.7%	
A-H J	3,839,042	0.3%	3,857,220	0.5%	4,211,943	9.2%	4,390,528	4.2%	4,378,534	△ 0.3%	4,367,613	△ 0.2%	4,353,529	△ 0.3%	4,344,660	△ 0.2%	4,336,975	△ 0.2%	
実質公債費比率(単年) I/J K	8.9	3.5%	9.3	4.5%	8.9	△ 4.3%	8.4	△ 5.6%	8.2	△ 2.4%	8.3	1.2%	7.5	△ 9.6%	6.1	△ 18.7%	4.6	△ 24.6%	
Kの3ヶ年平均	8.6	0.0	8.9	0.0	9.0	0.0	8.9	△ 0.0	8.5	△ 0.0	8.3	△ 0.0	8.0	△ 0.0	7.3	△ 0.1	6.0	△ 0.2	

6 将来負担比率(見込)調

調査表6

(単位: 千円, %)

区 分		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地方債の現在高(一般会計等)	a	9,712,139	11,101,034	10,194,076	10,224,856	9,796,481	9,377,823	8,805,892	8,081,040	7,309,373
債務負担行為に基づく支出予定額	b	274,068	212,382	415,948	367,964	298,996	214,258	421,162	337,143	253,838
公営企業債等繰入見込額	c	7,955,823	7,610,029	6,626,975	6,227,434	5,815,067	5,325,763	4,832,666	4,433,126	4,004,692
一部事務組合等負担等見込額	d	62,115	58,809	55,699	51,241	47,162	43,429	40,010	36,880	34,011
退職手当負担見込額	e	766,589	763,562	680,156	700,561	721,578	743,225	765,522	788,488	812,143
設立法人の負債額等負担見込額	f	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地開発公社	g	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第三セクター等	h	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連結実質赤字額	i	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組合等連結実質赤字額負担見込額	j	0	0	0	0	0	0	0	0	0
充当可能基金	k	8,331,249	8,419,251	8,602,686	7,891,685	8,014,817	8,108,829	8,216,514	8,246,681	8,204,051
充当可能特定歳入	l	53,413	47,333	148,233	143,786	139,472	135,288	131,229	127,292	123,473
都市計画税	m	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基準財政需要額算入見込額	n	12,216,684	12,462,466	12,071,665	12,083,737	12,095,821	12,107,917	12,120,025	12,132,145	12,144,277
将来負担額 A	o	18,770,734	19,745,816	17,972,854	17,572,056	16,679,284	15,704,498	14,865,252	13,676,677	12,414,057
充当可能財源等 B	p	20,601,346	20,929,050	20,822,584	20,119,208	20,250,110	20,352,034	20,467,768	20,506,118	20,471,801
標準財政規模 C	q	4,818,414	4,876,464	5,286,224	5,544,433	5,579,803	5,605,864	5,592,024	5,582,043	5,537,635
算入公債費等の額 D	r	979,372	1,019,244	1,074,281	1,153,905	1,201,269	1,238,251	1,238,495	1,237,383	1,200,660
将来負担比率 [(o-p)/(q-r)] × 100		▲ 47.6	▲ 30.6	▲ 67.6	▲ 58.0	▲ 81.5	▲ 106.4	▲ 128.6	▲ 157.1	▲ 185.7